

令和6年度 第1回 横山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月25日（木） 13時45分から15時45分まで
- 2 開催場所 横山小学校 3階CSルーム
- 3 出席委員 内野 永士、藤澤 徳次、青山 敏郎、溝口 玄、長田 テツ子、
田中 綾、太田 亜希子、猪 さやか
- 4 欠席委員 今場 嘉寿
- 5 オブザーバー 増田 健一（竜川ふれあいセンター所長）、坂井 久司（龍山民生委員）、
森下 智子（竜川主任児童委員）、藤原 二三美（龍山主任児童委員）
- 6 学校支援コーディネーター 市川 有佳
- 7 学 校 長坂 麻里子（校長）、川村 雄司（教頭）、遠見石 範子（CS担当）
沖 みどり（CSディレクター）
- 8 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり
- 11 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、青山会長から溝口副会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）令和6年度学校運営の基本方針について
- （2）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- （3）令和6年度の目標について

13 会議記録

司会の川村教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和6年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 子供の人数が減り、ワンツーマン的な指導になっていくと思うが、これを生かし、他の学校にはない授業を行ってほしい。（内野委員）
- ・ 小規模校だったおかげで、卒業生同士の仲が良く、小学生たちの面倒をよく見ている。そんな卒業生や地域の若い方をうまく巻き込んで行事を行っていけば、学校全体に活気が出てくるのではないかと。（太田委員）

- ・ 少人数というマイナスのイメージだが、少人数だからこそできることもたくさんある。子供たちだけではできなくても、保護者や地域の方、卒業生みんなに協力してもらい、できないことよりもできることに目を向けて、子供たちにいろいろな経験をさせてあげたい。(猪委員)
- ・ 少人数は、強みである。学びとは、個で身に付けることであり、周りの人数は関係ないものだと思う。大人数で学び合う場面は、意図的に作っていけばいい。また、校長先生が掲げるグランドデザインは、子供たちへいろいろな技を使い、惹きつけるような授業をしてくださる先生方がいてこそであると思う。(青山会長)
- ・ 教育資源のたくさんある環境の中で、自然に親しむことや、自然を恐れることを小さいころから身に付けることができている横山の子供たちは、社会に出てもいろいろな事に対応できる力が身に付いていると思う。先生方には自信をもって、ここで教育をしていただきたい。(坂井オブザーバー)
- ・ 横山小学校では、子供たち一人一人丁寧に指導してくださり大変安心できている。しかし、卒業するといじめをはじめ、いろいろな問題にぶつかる。その困難に耐えうる強さを育ててほしいと思う。(森下オブザーバー)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書についての説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(3) 令和6年度の目標について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき令和6年度の目標について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 子供たちのために地域が取り組んでいくのが目標であり、目標として掲げる中に「地域のため」の熟議は必要ではないと思う。(溝口副会長)
- ・ これからの行事や学習の支援には、LINE を利用しての募集を検討してはどうか。(太田委員)
- ・ 目標の2つめについては、「地域から学ぶ活動」への支援のあり方として、分かりやすくしたらどうか。(溝口副会長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、すでに自治会にて回覧済みである、資源回収と運動会の案内についての説明があった。また、次回会議を、令和6年6月6日(木)午後1時45分よりCSルームで開催する旨の報告があった。